



第66回全日本高等学校選手権大会(女子)

Match Result

試合番号 **106**

A 試合会場レポート



■会場 東京体育館(東京) 試合開始:12:45 試合時間 2:25
観客数 8,000 主審: 鈴木 和彦 副審: 秋峯 育子

九州文化学園高等学校

■監督: 井上 博明
■コーチ: 出野 久仁子

■第1セット出場メンバー

6 田中	8 山本	2 佐藤
3 山本	1 田川	10 中島

()内は交代選手
■リベロ: 13 濱元 さやか

東九州龍谷高等学校

■監督: 相原 昇
■コーチ: 大木 正彦

■第1セット出場メンバー

7 高倉	6 山本	5 高良
3 加藤	1 比金	2 熊本

()内は交代選手
■リベロ: 9 宇都宮 光

得点	セット時間	得点
22	1set(26')	25
23	2set(28')	25
25	3set(25')	18
25	4set(26')	21
25	5set(28')	23
120	Total	112
3	セット数	2

■Match Comment

大会最後を飾る女子決勝戦は高校総体との2冠を目指す東九州龍谷と、昨日フルセットの激戦を制し、ノーシードでの決勝進出となった九州文化学園との九州対決となった。
第1セットは終盤まで競いあうが、東九州龍谷2番熊本のアタックで流れを掴み先取した。
第2セット、九州文化学園は中盤流れを掴みかけるが、東九州龍谷の7番高倉のブロックで連続得点を取り第2セットも勝ち取った。
第3セット、後がない九州文化学園は、6番田中にボールを集め東九州龍谷を翻弄し、終始リードしたままセットを奪う。
第4セット、九州文化学園が2番佐藤のサービスでセットを奪いセットカウント2-2に戻した。
最終セット、東九州龍谷が4-1でリードするも九州文化学園も追いつき息詰まる展開となり、デュースにもつれ込み両チームリベロ13番濱元と9番宇都宮の好レシーブとアタックの応酬となった。九州文化学園1番田川のサービスエースでマッチポイントとなり、6番田中のアタックで勝利し雪辱を果たし2007年以来の優勝を飾った。

■Coach Comment: 井上 博明(九州文化学園高等学校)

■Coach Comment: 相原 昇(東九州龍谷高等学校)

■作成者: 江藤 幸恵

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。



第66回全日本高等学校選手権大会(女子)

Match Result



試合番号 **102**

A 試合会場レポート

■会場 東京体育館(東京) 試合開始:12:25 試合時間 2:12
観客数 7,500 主審: 小林 友香 副審: 鈴木 和彦

九州文化学園高等学校

■監督 : 井上 博明
■コーチ: 出野 久仁子

■第1セット出場メンバー

6 田中	8 山本	2 佐藤
3 山本	1 田川	10 中島
		9 (大塚)

()内は交代選手

■リベロ: 13 濱元 さやか

共栄学園高等学校

■監督 : 太田 豊彦
■コーチ: 加藤 涼

■第1セット出場メンバー

2 張	5 花井	3 佐川
		14 (北村)
1 森川	4 辻村	8 栗田
	10 (渡邊)	

()内は交代選手

■リベロ: 15 渡邊 祥子
9 細川 京香

得点	セット時間	得点
19	1set(24')	25
24	2set(27')	26
25	3set(24')	19
25	4set(26')	23
19	5set(19')	17
112	Total	110
3	セット数	2

■Match Comment

準決勝第2試合は、2013東京国体準優勝の長崎代表・九州文化学園と東京第1代表・共栄学園の対決となった。

第1セット、共栄学園は要所で2番張のクイックと1番森川、3番佐川のフェイントがよく決まり、先取。その勢いで続く第2セットも連取した。第3セット、後のない九州文化学園は、共栄学園の高いブロックを利用しブロックアウトを連発。対する共栄学園は、佐川のCクイックで対抗するも、九州文化学園のアタッカー陣がそつなく打ちこのセットは九州文化学園が奪った。第4セットは、息の詰まるような一進一退のゲーム。中盤、九州文化学園にサーブポイントが2本出て、このセットを逃げ切り、セットカウント2-2に戻した。最終セット、立ち上がり九州文化学園が4-0でリードするも、共栄学園もすぐに追いつく。両チームともアタッカー陣がよく打ち、このセットも一進一退のままジュースを重ね、最後は共栄学園にミスが出て、九州文化学園が粘る共栄学園を振り切った。

両チームともよく拾い、よく打ち、よく繋いだ好ゲームであった。

■Coach Comment: 井上 博明(九州文化学園高等学校)

■Coach Comment: 太田 豊彦(共栄学園高等学校)

■作成者: 高橋 亘

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。



第66回全日本高等学校選手権大会(女子)

Match Result



試合番号 **101**

A 試合会場レポート

■会場 東京体育館(東京) 試合開始:10:00 試合時間 1:47
観客数 4,850 主審: 大西 毅 副審: 秋峯 育子

東京都市大学塩尻高等学校

■監督: 岡田 隆安
■コーチ: 鈴木 定

■第1セット出場メンバー

6 宮嶋	5 小林	7 窪田
4 小林	9 宮下	10 高相

()内は交代選手
■リベロ: 13 原 瑞月

得点	セット時間	得点
25	1set(26')	22
17	2set(24')	25
22	3set(25')	25
18	4set(23')	25

東九州龍谷高等学校

■監督: 相原 昇
■コーチ: 大木 正彦

■第1セット出場メンバー

1 比金	3 加藤	7 高倉
		10 (溝口)
2 熊本	5 高良	6 山本
		12 (古寺)

()内は交代選手
■リベロ: 9 宇都宮 光

■Match Comment

準決勝第1試合は、高校総体との2冠を狙う東九州龍谷と、初の4強入りを果たした東京都市大学塩尻の試合となった。

第1セットは、1番キャプテンの牧田に代わりセッターを務める5番小林(理)の丁寧なトスと東九州龍谷のセッター1番比金の冷静なトス回しにより、終盤まで競った内容となるが、20点以降にサービスエースとブロックが出た都市大塩尻が第1セットを先取る。第2セットは、東九州龍谷の3番加藤と6番山本のスパイクが決まり常にリードを保ったままセットを取り返す。第3セットも一進一退の攻防を繰り返すが、要所でブロックを決めた東九州龍谷がこのセットも取る。第4セット、後がない都市大塩尻は7番窪田のスパイクなどで必死に食らいつくが、コンスタントにブロックを決めた東九州龍谷が一気に押し切った。3回目の出場で第3位になった都市大塩尻の健闘を称えつつ、東九州龍谷は2冠に王手となる決勝へと駒を進めた。

■Coach Comment: 岡田 隆安(東京都市大学塩尻高等学校)

■Coach Comment: 相原 昇(東九州龍谷高等学校)

■作成者: 天海 創

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。